インドが特許審査官増員・意匠の電子出願計画を発表

2013 年 7 月 29 日
JETRO ニューデリー

7 月 26 日付で報道各社[1]が報じたところによると、インド特許意匠商標総局のチャンタニア・プラサド長官は、今後 5-7 年間かけて特許審査官を 500 人増員すること、意匠の電子出願を今年中に開始することなどを発表した。ハイデラバードにおいて 7 月 26 日から 2 日間インド工業連盟（CII：Confederation of Indian Industry）の主催により開催された IPEX2013 での発言。なお、現在のところ、特許意匠商標総局のウェブサイト等では本件についての公式の発表はなされていない。記事のうち、興味深いところは以下の通り。

- 特許審査の滞貨は 13 万件であり[2]、現在審査請求から実体審査着手まで約 3-5 年要している[3]が、これを 1 年にするべく、審査官増員を行う。
- 審査官数は、既存の約 80 名に加え、今後 5-7 年の間に 500 名の増員を行う[4]。
- この一部として、150 名の審査官を既に雇用しており、7 月 29 日からナグプールの研修所において研修を行う。
- インドの特許審査官は、10-16 件/月の審査処理を行っている。
- 2011 年度の出願は、特許 43000 件、意匠 8300 件、商標 19400 件[5]。
- 特許出願は、電気電子、機械の分野で多く、医薬及びバイオテクノロジーがそれに次いで多い。
- 意匠の電子出願を今年中に開始する。

（今浦　陽恵）

本内容は、日本貿易振興機構が 2013 年 7 月現在入手している情報に基づくものであり、その後の法律改正等によって変わる場合があります。また、掲載した情報・コメントは著者及び当機構の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこの通りであることを保証するものではないことをあらかじめお断りします。

[1] http://www.livemint.com/Politics/hgOCkYuyYrRelSuRAxz4iJ/To-clear-backlog-Indian-patent-office-to-hire-500-over-next.html
http://www.business-standard.com/article/companies/new-techs-to-drive-patent-filings-in-india-113072600993_1.html
http://www.thehindubusinessline.com/industry-and-economy/share-of-indian-patent-applications-not-rising/article4956194.ece?css=print

[2] 2012 年 4 月 26 日時点での滞貨は 12 万 3255 件。

[3] インド特許意匠商標総局は、審査請求から実体審査着手までの期間の同ウェブサイト上での公表を先月開始している。
http://ipindiaservices.gov.in/rqstatus/
JETRO のウェブサイトでも当該発表を基に取りまとめたものを公表、随時更新している。
http://www.jetro.go.jp/world/asia/in/ip/

[4] インド特許局には、実態審査を担当する者として、審査官の他、約 70 名弱の審査管理官(Controller)とが在籍。審査管理官は、審査官の行った先行文献調査、起案等を決済し、出願人とのコミュニケーションを行う。

[5] JETRO 註：記事では、2012 年度となっているが、その他統計資料を参照すると、2011 年度の数字と解される。

Copyright©2013 JETRO All rights reserved. 禁無断転載